

## 1. 生活交通確保維持改善計画の認定申請について

### ～四日市市地域内フィーダー系統確保維持計画～

#### (1) 経緯・概要

- ・令和2年9月30日の長沢線（三重交通）の廃線に伴い、当該路線の運行経路を医療機関への移動手段確保に重点を置いた経路に見直した上で、三重交通と四日市市が共同して、令和2年10月1日から「こにゅうどうくんライナー」という名称で運行を開始した。
- ・運行にあたり、引き続き、国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づく地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の交付を受けるため、国に対し生活交通確保維持改善計画の認定申請を行うものである。
- ・申請にあたっては、地域公共交通会議で承認を得る必要があることから、今回、本会議に諮るものである。

#### (2) 地域間幹線系統との接続について

- ・こにゅうどうくんライナーは、地域間幹線系統である四日市平田線のフィーダー系統として位置づけており、イオンタウン四日市泊を乗り継ぎ拠点として、四日市平田線と接続する。

#### (3) 事業の目標

- ・事業の目標は、直近の6か月間（令和3年10月から令和4年3月）の利用実績や市内バス事業者の令和2年度及び令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮して定める。（資料2参照）

#### (4) 費用負担について

- ・運行経費から収益を差し引いた赤字部分の50%について国から補助金を受ける。残りの赤字部分については三重交通と四日市市が25%ずつを負担する。

#### (5) その他

- ・会議後の生活交通確保維持改善計画の軽微な修正は事務局に一任する。